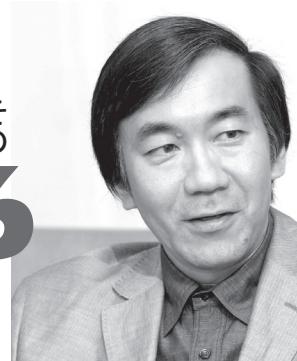




2008年8月10日

# いま起きつつあること…

高橋哲哉さんの  
平和講演会から



その  
6

## 身近なところから 「声」にしていく

演会のまとめをしたいと思ひます。

質疑の中でも一つの鍵語となつたのが「どうしたらよいのか」ということです。

「子どもたちに平和を教えるには、どうしたらよいのか」「憲法9条を守り、平和を継続するにはどうしたらよいのか」という質問です。

むちろんそこには「教会はどうしたらよいか」という課題が私たちに突きつけられていました。

いふことは語つまでもあります。

## 平和をつくり出す 者としての責任

高橋哲也先生の講演会の内容をここ数回に渡つて紹介してきました。

講演後に質疑応答の時間が持たれましたが「もし先生が首相になられたら…」という質問が飛び出すなど実際に多肢にわたりました。

充実した質疑応答のすべてをご紹介するスペースはここにはありませんので、そのエッセンスを紹介しつつ、講

にはウルトロのよつたな特効薬はなく、日本国憲法で保障されている思想及び良心の自由

状況の中でじのよつたな「言葉」を発する必要があるでしょう

か。先生の講演を通して教えられたことは、平和を実現する世論を変えていくしか方法はないと先生は言われます。

そして、それぞれの立場によつてできることが違うけども、「この国は戦争に向かっている」という危機感を覚えていたり、自分の身近なところから危機感を「声」にしていくことが何よりも大切だと

先生は参加者に語りかけ、講演は幕を閉じました。

キリスト者がそれぞれに遭わされている場所にあって、平和をつくり出す言葉を語る者でありたいと、高橋先生の講演を通して強く思わされました。

高橋先生の講演を通して私たちは、「今」の国は戦争に向かっていることをはつきりと知らされました。

「平和を実現する者は幸いである」との主イエスの御言葉に生きる私たちキリスト者、教会は、危機的なこの時代の

### 講演会のお知らせ

- ◆テーマ：グローバルな教会としての歩み
- ◆講師：佐藤岩雄牧師
- ◆日時：9月6日（土）13時～15時30分
- ◆場所：高座教会
- （日本中会 教育情報委員会・神学・社会委員会共催）